2024年度 一般選抜前期：1次試験（TMPSそっくり類題演習） **埼玉医科大学・医学部**

小　論　文

（試験時間 60分 ／ 大問3題：全6問記述式）

【解答上の注意】
1. 字数制限のある設問では、句読点やカッコも1字として数え、制限字数の8割〜9割以上を目安に記述すること。
2. 大問3の問1・問2は日本語で、問3は英語で記述すること。

1　次の文章を読んで、後の問い（問1）に答えよ。（目標時間：17分）

若いころの友人たちのなかには、ちょっとした風邪や胃痛でもすぐに医者へ駆け込む者と、「男が病院通いなどみっともない、風邪も腹痛も気合と睡眠で治すものだ」と豪語して決して病院へ近づかぬ者とがいた。少年時代からの親友である健吉は典型的な後者であり、私が季節の変わり目に内科へ立ち寄るたびに、「いつになったら、お前の臆病な医者好きは治るんだ。いいかげんにしろよ」と軽蔑しきったような顔つきで笑い飛ばしていたものだ。

ところが、六十歳を目前にした昨年の秋、隣町の総合病院の待合室を通りかかると、奥のベンチでマスクと深い帽子で顔を隠すようにして座っている健吉とばったり鉢合わせした。私が「おい、健吉じゃないか！」と声をかけると、彼は飛び上がらんばかりに驚き、「い、いや、今日は隣の薬局へ親戚の使いで来たついでに、この病院の手洗いを借りただけだ」と、蚊が鳴くような声でしどろもどろに弁解した。

しかし、その直後に診察室のマイクで「内科でお待ちの健吉さま」と名前が呼ばれ、さらに私が「お前のジャンパーのポケットから、人間ドックの受診票がはみ出しているぞ」と切りつけると、健吉はぎょっとして慌ててポケットを掌で押さえた。そのポケットからは、ただの白い封筒が覗いていただけなのだが、私が「お前の医者好きは、いつからなんだ？」と問い詰めると、健吉はバツが悪そうに泣き笑いを浮かべ、「先月からだ……」と言うや、小走りに診察室へと逃げ込んで行った。

問1 下線部「健吉はバツが悪そうに泣き笑いを浮かべ」小走りに診察室へと逃げ込んで行ったのはなぜか。200字以内で説明しなさい。

【記述欄：200字以内（目安 170〜195字）】

2　次の文章を読んで、後の問い（問1，2）に答えよ。（目標時間：15分）

文字通りの意味としては「嘘（偽）」とは言えませんが、相手をだますためにしばしば使われるのが「誤誘導（ミスリード）」です。話し手は字義通りには事実と反しないことを述べながら、三角二重カッコ（《　》）の中の内容を聞き手に推測させ、誤解させようとしています。

誤誘導の例

a　この健康飲料、実感アンケートに答えたモニターの全員が効果を認めました！
《 **A** 》
（実際には100人のうち97人には全く効果がなかったが、効果があった3人だけにアンケートを取ったところ3人全員が効果を認めたため、文字通りには嘘ではない）

医療や日常の対話でも、このような誤誘導は深刻な問題になりえます。たとえば、服用すると激しい倦怠感や吐き気が何週間も続く可能性が高い薬を処方する際、「副作用は大丈夫でしょうか？」と心配する患者に対し、医学の専門用語における「重篤な副作用（生命に関わる致死的な副作用）」には該当しないという理由だけで、以下のどちらかを言ったとします。

a　医学的に重篤な副作用の報告は一件もありませんよ。（下線部ア）
b　服用しても体調不良や不快な症状は一切起きませんよ。（下線部イ）

問1 空欄 A に入る、適切な内容を書きなさい。

【記述欄：聞き手が思い込んでしまう内容】

問2 下線部アの発言と、下線部イの発言は、一方が嘘で、もう一方が誤誘導となっている。どちらの発言が誤誘導であるかアまたはイを記載した上で、なぜその発言が嘘ではないと言えるのか、話し手は聞き手にどのようなことを思わせようと意図しているのかを、100字程度で説明しなさい。

【記述欄：100字程度（目安 90〜105字）】

3 次の臨床的共感（clinical empathy）についての文章を読んで、後の問い（問1〜3）に答えよ。（目標時間：25分）

When we speak of "clinical empathy," we do not mean merely feeling sorry for a patient or sharing the exact same emotional pain. Rather, in medical practice, clinical empathy is a cognitive and communicative capacity that involves understanding the patient's inner experience and perspective, and communicating that understanding back to the patient with an intention to help.

Usually, when medical students first encounter this concept$_{ア}$, they wonder how it differs from ordinary sympathy. It is so broad; sympathy is an automatic emotional reaction, whereas clinical empathy requires active listening and careful observation across every clinical setting.

What all empathetic practices have in common, though, is an effort to support the patient's dignity. Listening to a patient is about building trust, and it is never a waste of time: a five-minute conversation at the bedside isn't only about collecting symptom data, it is also about relieving the patient's unspoken anxiety.$_{イ}$

A In emergency surgery, technical speed and precision are the top priorities. Yet in chronic illness care, how a physician listens to a patient's life story can be just as important as the prescription itself.

問1 下線部ア `this concept` の示す内容を 100 字以内の日本語で説明しなさい。

【記述欄：100字以内の日本語（目安 85〜98字）】

問2 下線部イを日本語に訳しなさい。

【記述欄：下線部イの日本語訳】

問3 空欄 A には、次の意味の英文が入る。空欄に入る適切な英文を書きなさい。

「患者との関わり方については、すべての医療状況で同じ基準が当てはまるわけではない。何を優先すべきかという判断そのものが、状況によって大きく異なる。」

【記述欄：英語で記述】

📝 自己採点・ルーブリック確認欄（満点解答例はWebページの「そっくり類題セット」を開いて確認！）

大問・設問	採点基準（必須チェックポイント）	目標時間	配点目安
大問1 問1（200字以内）	①過去の強がり・からかい ②変装受診の発覚 ③嘘の露見 ④羞恥と照れくささ	17分	/ 30点
大問2 問1・問2（100字）	①「ア」の特定 ②致死的でないため字義通り真 ③不快な副作用もないと誤信させる意図	15分	/ 30点
大問3 問1〜3（英語融合）	問1：内面理解＋伝達能力 ／ 問2：not only A but also B ／ 問3：部分否定＋itself	25分	/ 40点

解説：Mio先生・ニックニ先生（TMPS医学館）　Web解説・満点解答例：https://tmps-1489.com/coaching/shoron/saitama-med-2024/